

県立南会津高校を守り育てる会ニュース

2022年
2月14日発行
【事務局】
町片貝字石田
425
菅家 新

住民の声、誰を向けただけじゃ だが、私たちは負けな〜！

経過の報告

く。十日の会議を前倒しで実施したとのこと。

①一月二十八日(金) 県庁内で、PTA会長・同窓会の新旧会長、南会中PTA会長代理・当会から事務局長が出席。自民党の矢吹貢一、佐々木彰氏の両氏と面談。十日の「政策会議」で決めるとの実質的な拒否回答。

②一月三十一日(月) 自民党・矢吹貢一県議から「本日役員会を開いて、当会派から紹介議員は出さないことを決めました。」と事務局に電話を頂

③二月八日(火) この日までの「請願書」の集約状況を星公正県議に報告。星県議の足元(支持者)が多いことと南会津郡全地域から届いていることを伝え、「住民の声・支持者の声」を県議会に届けるのが星県議の役目であり責任ではないのかと説得。

④二月十日(木) 午後一時過ぎに 県庁の自民党議員控室で星公正県議に「紹介議員」をお願いすると二つ返事で「はい、やりませう」「えっ？ ホントにいいの？」と聞き返してしまつたが「うん」と返事してその場で署名。帰り際に「部会でどうなるかわからないよ」とのこと。署名してしまつたので、県議会の委員会レベルでは審議されるだろうと思

⑤二月十四日午前十時九分に事務局に星公正県議から電話があり「紹介議員から降ります。自民党が否決しました。了承を得るために電話をしました。」

⑥県民連合も十四日に返事をもらうことになつていたので連絡はなし。別ルートで「自民党ができないものをやれない」との話だったらしい。

良心と正義を発揮して

⑦紹介議員には当会の事務局長との知人である吉田英策県議に頼んでなんとか県議会には提出になりました。この経過からすれば委員会で否決されて「終わりに」なる可能性が大きいです。

「このような理不尽な方法で、住民をまるで無視して決めていいのですか？ 住民の声をあなたは どう思っていますか？ 住民の声を聴く機会を作ってください。」

だれかが理解して(NGO)

⑧しかし、殆どの県議、県教育庁の殆どの職員は「通学できないこと」「南会津高校がなくなつ

たら西部地区の衰退は早いよね」とは理解しているのですが、彼らはいったい何のために「住民の声を無視しているのか」「誰のために住民の声を無視しているのか」「星公正県議はこれほどまでに住民を無視できる功徳はどこにあるのか」「自分の支持者をどこまでもバカにできるのはなぜなんだろうか」と考えてしまします。

⑨最終的にはこうなるのかなあ、と不安があつたので、星公正県議署名の請願書を提出してから、文教委員の全県議、県教育庁のリーダーたちと改革室全員に「住民の叫び」を送りました。あなたの仕事で「ひとつの高校がなくなり、南会西部地区の衰退は早くなります。その責任を感じたことがありますか？」

「ひとりの人間の良心・正義として声を上げてください！ 私たちは信じています。あなたを。」

ついに主婦の発言!

⑩ 館岩の「主婦から事務局に電話がありました。」 田島高校の寮に三億円を使うとはないごっど! 南会津高校にあるのではないか! なぜ田島高校が統合校なのだ? という疑問から矢吹県議に電話「上から決まって来たので理由はわからない。これまで賛成してきたのでこれから反対はできない」内容を理解しないままに賛成している与党の実態が明らかに。 県教委高校改革室では「田島には鉄道があるので若松からの入学生を入れるためです」と回答。南会津高校のことは無視! 館岩からと言われて本音が出てしまったのでしうか。

いっような暴言まじり

⑪この正月、事務局に情報をくれた人がいます。出所が特定されると困るといっているのでぼかしますが、「二校存続」を訴えている自治体のリーダー的な人に向かって「そんなことやっている」と田島高校もなくすぞ!」と県教育長に言われたそうです。で

も、その人は立派です! あくまでも「住民の立場」でその発言を跳ね除けています。

町議会を要請書を提出

⑫南会津町は、町長をはじめとして「地方創生」政策の立場から「二校存続」のお願いをあらゆる機会を通じて県に伝えて来ている。住民の請願書運動に呼応するかのよう、一月三十一日(月)に臨時町議会を開いて「二校存続のために計画の見直しの要請書」を全員で決議し、二月一日に県に郵送(コロナのため)しています。

住民無視の県政 卓議会

⑬みなさん! これでお分かりでしょう。内堀県政の姿を。それに無批判に従う県職員と保守与党(自民党、県民連合、公明党)の姿があることを。「住民無視も甚だしい県政」です。

⑭住民で考えると全住民からの「署名」提出。内堀知事と鈴木県教育長への抗議FAX。これは相当の反応があったが県民向けには無視の態度。今回の内堀

知事宛の「要請ハガキ」は二千通を超えているはずですが公式的には無視。そして「住民の請願書」であつても、自分の支持者のものであつても無視できる県会議員のモラルの低下による住民無視!

⑮でも、でも、聞こえて来ませんか! 内部からの崩壊の音が! あの必殺仕事人がいなくても、あの桃太郎侍がいなくても、このような「住民無視」の県政は続くものではありません。私たち住民の力は弱くても、水滴が岩をも通す例えの如く諦めてはいけません! 諦めたら前進はありません! やれることはやりつくしましょう!

南会西部地区をたのしく

◎南会西部地区を自分たちで誇れる「里山」にしよう! 南会西部地区をみんなで生活して楽しい地域にしよう! それには南会津高校が必要なのです! 南会津高校があるから南会西部地区なのです! そのような南会津高校を存続させる機会は今しかありません。

なにをすればいいの?

現在の住民として要望事項は、「二校存続」ではあるけれども、主義主張、党派を超えて賛同できることは「住民との話し合いがなされずに統廃合が決まっている」から「住民の声を聞け!」「住民と話し合え!」ということです。次のことを提案します。

- (1)** 県知事、県教育長に「話し合ってください」とFAXを送る。【内堀雅雄県知事FAX024-521-7900 秘書課】 【鈴木淳一県教育長FAX024-521-7969 総務課】
- (2)** 県庁職員や県議に連絡して「住民の声」を伝える。
- (3)** 出来るだけ「商労文教委員会」の傍聴をします。
- (4)** 採択がなされる「本会議」を傍聴します。
- (5)** 星公正県議の「住民代表であることの自覚」を促して採決に貢献してもらおうための働きかけをします。
- (6)** マスコミに「住民の声」を報道してもらおう。

最後の最後まで諦めずに
頑張らましよう!